

## 令和6年度 第4回 双葉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年12月10日（火）14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 双葉小学校 会議室
- 3 出席委員 河邊 忠一、平岡 廣二、伊東 敏郎、水野 久美子、大羽 恵子  
蓑 悦子、大嶋 雅也、木村 理
- 4 欠席委員 加藤 泰弘、富田 秀仁
- 5 オブザーバー 加藤 晴康（南部協働センター館長）
- 6 学校支援コーディネーター 岡野 真知
- 7 学 校 藤井 隆志(校長)、滝川 宏美(教頭)、浅井 功平(教務主任)  
馬淵 康枝（CSディレクター）
- 8 教育委員会 鈴木 陽子(教育総務課)
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 馬淵 康枝
- 11 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、水野委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### 12 協議事項

- (1) キッズチャレンジビジネスについて
- (2) 来年度に向けて

### 13 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) キッズチャレンジビジネスについて

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づきキッズチャレンジビジネスについて説明があった。

6年生担任から、キッズチャレンジビジネスに向けた6年生の活動について報告があり委員からは、以下の発言があった。

・一からの製作、デザインや名前決めから接客販売まで、いろいろなことに興味をもつようになる。商品説明やピラ配りは難しいこともあったが、販売に繋がる喜びも感じることができた。他の学校ではできない経験が双葉小の強みになる。（大嶋委員）

・商品を何にするかなどの意見をぶつけ合い、話し合うことで、成長することができる。本番でも最後は大きな声で説明することができて、販売できた喜びを感じられた。手ぬぐいのたたみ方や帯もとても良かった。（木村委員）

・ボランティアに入り、初めの予定ではできるか心配だったが、ミシン縫いも計画を立ててスムーズにでき上がっていった。たたみ方もセンスが良く、接客も良かった。

(菘委員)

・去年の5年生がこんなに成長したのかと思った。一段階成長した姿を目の当たりにして幸せな時間だった。子供、保護者、ボランティアの思いが詰まっていた。地域の人たちに広告することも大事だと思った。(大羽委員)

・一生懸命製作する姿は成長が見られた。楽しい思い出になれば良いと思った。

(伊東委員)

・販売活動以外にも宣伝広告がもう少しあっても良いと思った。しゃべるのが苦手な子も努力して成長していた。短い時間で力がついて自信になる。(平岡委員)

・製作、模擬販売、接客研修の見学をして全体的に見ることができた。子供たちの取り組む姿勢も変わって行って成長を感じた。当日は緊張の場面も見られたが、練習の成果で楽しく生き生きと活動できたのではないかと。手作りした物をお客様に説明して販売に繋がると満足することができる。(河邊委員)

・低学年もキッズチャレンジビジネスを意識すると楽しみになって良いと思う。チラシ配りは、受け取ってくれる人ばかりではないという経験をしてそれも成長に繋がると思った。(水野委員)

(2)来年度に向けて

議長からの指示により、校長から、別紙資料に基づき子供主体の教科学習の充実について説明があった。

#### 14 報告事項

・木村委員から、キッズチャレンジビジネスを中心とした学校支援活動について報告があった。

・学校支援コーディネーターの岡野様から、学校ボランティア登録状況とボランティア登録制1年目の成果と課題について報告があった。

#### 15 その他連絡事項等

司会から、次回会議は、令和7年2月6日(木) 14時30分～16時00分に3階会議室で開催する旨の報告があった。